

球磨川水系流域治水プロジェクト及び令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン推進に向けた 流域住民の皆様を対象とした説明会（御質問への回答）

日時：令和3年8月26日（木）午後7時～

会場：球磨村立球磨中学校体育館

参加者：34名

※上記説明会で頂いた御質問等に対する回答を種別ごとに掲載しています。

※御質問の内容については簡潔に概要としてまとめています。

※回答内容については、当日の回答内容を基本として簡潔に整理したのですが、必要に応じて一部、補足説明を追記しています。

【球磨川流域の治水対策について】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
砂防ダムに堆積した土砂の撤去の計画はどのようなものか。	砂防ダムに堆積した土砂は、河床勾配が緩やかになり上流部の溪床の法面等の崩壊を防ぐため、計画的に堆積させるもので、基本的には撤去しません。御質問は、計画以上に堆積した異常堆砂のときにどうするのかということだと思いますが、異常堆砂については、現地を確認しながら、掘削等を行っていきたく考えています。	熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局
遊水地については、どのようなプロセスで事業が決定されていくのか。	基本的に今回の遊水地の事業は、球磨川の河川管理者である国が進めていく事業になりますので、令和3年8月21日に対象となる方々とその地域にお住まいの方々に対して、国の現在の計画を御説明したところです。村としては、皆様方の同意が前提となりますので、21日の説明会後から、各地区で地域別協議会を2回実施しており、27日が今村地区を予定しています。各地域の住民の皆様にお集まりいただき、具体的なお話もしていただきました。国の担当にも来ていただき、御質問にも丁寧にお答えをしている状況です。今後、ドローンを使った測量調査があり、どの辺まで掘り込みに耐えられるかをボーリング調査により確認すると国から話を聞いています。実際、報道でもありましたとおり、地役権方式だけでは容量が確保できないため、部分的に掘り込みもやらなければならないということです。そういった様々な調査を進めていく中で、もう少し具体的な計画がはっきりしてきますので、それを地域の皆様に御説明し、具体的な話になっていくと思います。例えば、ここは農業を続けていけるのかといった様々な御意向があると思いますので、そういった御意向も把握をしながら、村も一緒になって、この計画を進めていきたく考えております。	球磨村 復興推進課
峯地区の嵩上げの高さは、堤防と同じ高さか。仮に堤防を越えて遊水地に水が溜まった場合は、宅地は大丈夫なのか。	遊水地は、遊水地よりも下流側のピーク水位を下げる効果があります。遊水地よりも上流側にある地区については、その上流において水位を下げる対策をしなければ、守れないというような状況になってしまいます。球磨川の流域治水の考え方ですが、上流域において流域全体の水位を下げるための対策を実施して、令和2年7月豪雨と同規模の洪水が発生した場合でも、人吉市や渡地区のように堤防があるような場所であれば、堤防から水が溢れないような水位まで下げることを実施します。そのため、その遊水地に入る水が、さらにそこから溢れて越えてしまうということまで考えているものではありません。	国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所
遊水地に貯まった水の環境衛生面はどう考えているのか。また、遊水地に子どもが入らないよう危険防止の柵等を設置するのか。	資料1の20ページより御説明したいと思います。こちらのイメージ図では黒い矢印で書いてありますように、上流側に越流堤があって、洪水が遊水地に入り込んでいる図になっていますが、必ずしも上流側から入ると決まったものではありません。洪水を下流側から入ることによって、土砂や流木などを入りにくくするといった構造上の工夫、あるいは遊水地に洪水が流れ込む際にゴミ等の流入を防ぐスクリーニングのような構造にすることもできます。現時点で球磨村の住民説明会等での遊水地の説明としては、まず、その範囲を説明している段階です。今後、調査結果等を踏まえて、実際に設計をしていく際に、スクリーニングや柵等の管理面も含めて検討し、お示ししていきたいと考えています。	国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所
球磨村の小川で河川工事が行われているが、明らかに堤防が低い箇所がある。管理区間ごとの連携をどのように図っているのか。	小川の導流堤については国が管理しており、その上流を県が管理しています。堤防が低い箇所については、場所を説明会後に教えていただき、県の管理の部分については、当然、県で管理していきます。村へ御相談をしているということですので、村からもそういう情報を提供いただければ、県でも対応していきたく考えています。 【補足説明】 堤防が低い箇所については、次期出水期までに、大型土嚢等で応急対策をすることとしています。長期的な対策としては、国、村と連携して検討していきます。	熊本県 土木部 河川港湾局 河川課

【球磨川流域の治水対策について】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
<p>流水型ダム環境アセスメントは、どのような内容・スケジュールで進めていくのか。</p>	<p>川辺川ダムの環境アセスについては、元々法アセスの対象外となっておりますが、この球磨川流域において、流水型ダムを整備するにあたり、熊本県知事からも命と環境を守るということを強く言われておりますので、国土交通省としましても、環境アセスの対象となってはませんが、法アセスと同等のアセスを実施していくと考えています。 法アセスは、まず計画段階の配慮書を作成した後に、その方法の項目等について述べる方法書を作成します。調査、予測評価をした上で、準備書を作成します。その全体を評価した評価書、そして最後にそれを取りまとめた報告書を作成することが、法アセスの流れとなります。 新たな流水型ダムにつきましても、アセスをどのように実施していくのか、対象をどうするか、その手法はどのようにやるのか、こういったものの議論がまさに始まったばかりで、どれぐらい時間がかかるのかは今申し上げることはできませんが、今説明しましたそれぞれの段階をしっかりと行うことによって、環境への影響がどうかしっかりと評価して参ります。</p>	<p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p>
<p>神瀬地区の砂防計画について、砂防施設をいくつ建設するのか、計画を教えてください。</p>	<p>資料3の2ページに、緑色の四角で塗りつぶしている箇所が、神瀬地区で砂防の堰堤を計画しているところです。位置図の上の方は川内川の砂防堰堤箇所、上原谷の砂防堰堤箇所、木屋角の砂防堰堤箇所と堤の砂防堰堤箇所です。加えて、中津川では高沢地区になりますが、位置図で四角で塗りつぶしている箇所、砂防堰堤を計画しています。 一部は測量調査、測量設計を行っており、用地交渉、用地の取得が完了すれば、工事を発注していきますが、今後、上原谷や木屋角、堤等は測量設計を行いますので、測量設計に入る前に該当箇所については住民の方へ御説明等しながら、実施していきたいと考えています。</p>	<p>熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局</p>
<p>瀬戸石ダムを撤去することが、簡単に水位を下げる方法だと考えている。そのことへの見解は。</p>	<p>国土交通省では、瀬戸石ダムを管理する電源開発から、令和2年7月豪雨でどのような被害であったのか、その施設によって水位がどう影響したのか等についての説明を受けました。その説明によると瀬戸石ダムがあったことにより水位が急激に上昇したというような報告は受けていないところです。</p>	<p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p>
<p>球磨村内の河川に設置された水位計と監視カメラの情報をパソコンから見れない場所がある。いつ見れるようになるのか。</p>	<p>令和2年7月豪雨で、県の管理しているカメラ・水位計は被災し、壊れていましたが、今年のお出水期までには修理し、運用できるような状況だと思います。御要望のカメラや水位計が作動していないとの話がありましたので、説明会后、どの位置のカメラ等が見えないのか教えていただければ、確認し後日御回答します。 国で一部、代行業業として河川工事を請負っていただいています。まだ工事施工中のところもあり、危機管理のために簡易的に設置しているカメラ等もあります。それらについては、今後県に引き継ぎ、それらを有効活用し、防災活動に御活用いただければと考えています。</p> <p>【補足説明】 ご指摘の球磨村管内の水位計、カメラについては、年度内の作動に向けて、12月時点で工事契約が完了しており、調整を行っています。</p>	<p>熊本県 土木部 河川港湾局 河川課</p>
<p>防災無線等を通じて、市房ダムの放流情報を球磨村にも発信してほしい。</p>	<p>警報施設については、ダムからの放流に伴い、河川の水位に著しい変化を生じる区間に設置することになっており、市房ダムから人吉までに16局設置しています。 市房ダムでは、球磨村を含む関係機関に対して、放流に関する通知を行っております。今後、戸別受信機や防災無線などの利用ができないか、村と連携し検討して参ります。</p>	<p>熊本県 土木部 河川港湾局 河川課</p>
<p>市房ダムの警報サイレンは球磨村に設置してあるのか。なければ、設置してほしい。</p>	<p>【補足説明】 ダムの放流量や水位の情報については、県ホームページ（熊本県統合型防災情報システム）でリアルタイムな情報を確認することができますので、避難の際に御活用ください。</p>	<p>熊本県 土木部 河川港湾局 河川課</p>

【復旧・復興の取組みについて（治水対策を除く）】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
球磨村の国道、県道の嵩上げをしていただき、橋も同様にその高さで再建してほしい。	現在、国道、県道を含めて、権限代行で国土交通省が道路の復旧を実施しています。令和3年4月から、新たに八代復興事務所を発足し、権限代行を中心とした復旧を実施しています。 また、現在家屋が浸水しないように宅地かさ上げ等の事業をまちづくりと一体となって、推進しているところですが、地域間をつなぐ道路についても、しっかりと安全を確保するために高さを高くして欲しいという声は数多く聞いています。 いただいた御意見は八代復興事務所にもお伝えし、皆様方の安全の確保に努めて参りたいと考えています。	国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

【本説明会について】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
今回の説明会はどのように周知しているのか。参加していない世帯に資料を配付していただきたい。	本説明会の周知については、まず、幅広い周知を行うために、少なくとも会場ごとに2週間以上の周知期間を設け、長いところは4週間程の周知期間を設けました。その上で、報道機関にも開催の御案内をした上で、様々な広告媒体を活用し、周知を行っています。 具体的には、県のホームページへの掲載のほか、各市町村にも御協力いただき周知を行っています。 球磨村においては、村の御協力をいただき、全戸回覧による周知を行っています。本日の説明会に参加できなかった方も県に御連絡をいただければ、資料をお送りいたします。また、本日以降にも別会場で説明会を開催しますので、そちらの説明会に都合がつけば、参加することも可能です。もし、そのような方がいましたら、県に御相談いただくようお願いいただければと思います。	熊本県 企画振興部 球磨川流域復興局
本説明会や地区別協議会の周知について、村はどのように考えているのか。また、参加人数が少ないと思うが、どう考えているのか。	本説明会の周知については、8月10日の臨時お知らせ版により住民の方に周知しています。 そして、地区別協議会等の周知については、各地域の班長さん区長さんに、周知をお願いしています。	球磨村 復興推進課
説明会について、コロナの状況もあり、多くの人を集めれないのであれば、WEB配信等の方策を検討してもらいたい。	この球磨川水系流域治のプロジェクトの取組みは、行政だけではなく、住民の方と一緒に取組まなければならないもので、広く知っていただく必要があると考えています。プロジェクトの理解を深める取組みとして、この全8回の説明会のほか、知事が8月1日に球磨村の仮設団地を訪問し御説明した機会、国の遊水地などの個別の説明会、各市町村で行われている地区別の懇談会の場など、同時並行して様々な場面で治水の考え方を御説明しています。 当然ながら、今後も治水の取組みが進み、徐々にフェーズが変わっていきますが、そうした場面を踏まえながら、国、市町村と一緒に御説明する機会を設けていきたいと考えています。 今、ライブ配信などの御意見をいただきましたので、それについても今後、考えていきたいと思っています。	熊本県 企画振興部 球磨川流域復興局

【その他】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
大雨が降った後、以前より球磨川の濁りが長く続くが、その原因を調べていただきたい。	球磨川の濁りが続く原因としては、例えば流域の最上流部に当たる山が荒れているのが要因なのか、球磨川に流れ込むところまでに何か要因があるのかなど、流域の場所によって様々な要因が考えられますので、流域治水の取組みとして、国・県・市町村と協力して、今後検討を進めたいと考えています。	国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所